

## 第2学年3組 道徳指導案

- 1 主題名 よりよい社会の実現に向けて〔内容項目C-（12）：社会参画の精神〕（1時間完了）  
〈資料名 「地下鉄で」 出典：自分を考える（あかつき）〉

### 2 ねらい

中学生が、突飛な行動をしながらも地下鉄でお年寄りに席をゆずる行為から、思いやりを表現することの大切さを考える資料である。思いやりをもつことは大切だが、思うだけでなく実際に行動に移した中学生の姿にふれることを通して、よりよい社会の実現は一人一人の行動によって成り立つことを知り、積極的に行動しようとする道徳的実践意欲を高める。

### 3 ねらいとする道徳的価値

中学生の時期は、人の目を気にしたり友達からの評価を気にしたりするあまり、正義感に基づく行動がとれなかったり、人のためによかれと思ったことでもなかなか行動に移せなかったりする。しかし、困っている人を見かけたり、誰かに何かを頼まれたりしたときに、素直に思いやりのある行動をすることは、よりよい社会の実現のためには大切なことである。家を出て一歩外へ踏み出せば、大人でもあまりほめられたものではない行動をしている者もある。ごみのポイ捨てや違反駐車などいたるところでそのような行動は見てとれる。しかし、一人一人の意識を変えることによってそれらは解決できるはずである。

本時を通して、あまり上手なやりかたではないが、人のために気持ちのよい素直な行動をした中学生の行為に目を向け、思いやりを行動に移すことの大切さを感じとらせたい。そして、よりよい社会の実現のためには、誠実にまた積極的に行動することが大切だという気持ちを高めたい。

### 4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

#### (1) 学級について

本学級は、男子20名、女子17名が在籍している。学級は全体的に落ち着いており、男女それぞれの仲がよい。少しずつだが級長や学級庶務が学級全体への声かけをできるようになってきており、生徒が主体となる学級づくりを推進できている。

これまでの道徳の授業では、発問をした際に自分の考えをワークシートに記入することがスムーズにできる生徒が多い。しかし、いざ発表となると、他に意見を言ってくれる人がいるという安心感からか、限られた生徒しか発言しない。このように、自分がやらなくとも誰かがやってくれるという甘えが存在する。また、他者の身勝手な言動に対してもそれはいけないと注意することができない。

そこで本時では、よりよい社会の実現は一人一人の行動によって成り立つことを知り、積極的に行動しようとする気持ちを高めたいと考えた。

#### (2) 抽出生徒について

##### ①抽出生徒Aについて

Aは普段10分放課や昼放課に他学級へ出向き、気の合う友達と過ごしている。また、学校のルールに大きく違反したり、学級の雰囲気や壊したりするような言動はない。しかし、教室移動の時に決められた位置に並ばないといった自分勝手な行動をしてしまったり、「学校はおもしろくない」などといった前向きでない気持ちを、学級全体の前で露呈させてしまったりすることもある。また、これまでの道徳の授業では、積極的に授業に参加しようという意欲はあまり感じられなかった。そこで本時では、資料の感想を問う場面で意図的に指名することで授業への参加意欲を促す。また、テレビやインターネットで知ったり触れられたりすることだけが社会ではなく、学級や部活動などの身近な場であっても一つの社会であることを確認してから基本発問の3番目である「あなたたちは、どんな社会を作りたいですか」という発問を投げかける。そうすること

で、学級への所属感を高めたり、級友の意見をじっくりと聞くことを通してそのよさを感じさせたりすることで、学級を大切にしようとする気持ちを育てたい。

## ②抽出生徒Bについて

Bは前期級長であり、リーダーとしての的確な言動から級友の信頼を得ている。体育大会では副団長、合唱コンクールでは指揮者を務め、学級づくりの牽引役としても活躍してきた。

本資料を読み、人を思いやる心情の大切さや、それを行動に移すことの大切さにすぐに気づくであろう。Bを意図的に指名し、普段から学級のために行動している彼のよさを認めることで、思いやりをもって行動することの大切さを学級へ広めたい。また、この授業を通して、今までの自分の行動に自信をもち、よりよい学級をつくるために更なる活躍をすることを期待したい。

## 5 資料について

### (1) 資料の概要

地下鉄のドアが開いた。女子中学生とおぼしき二人連れのうちの一人が、前に並ぶ老女をおしのけるようにして先に車内に乗り込む。そして空きの少ない座席の一つに腰掛ける。うしろの並んでいた筆者は眉をしかめ舌打ちする。すともう一人の少女が老女に近づき「席、ありますから」と声をかけ、荷物をもってやり、先に乗り込んだ少女のもとへ連れていき、席に座らせた。見知らぬ人が行き交う社会の一隅で織りなされた、心あたたまる光景である。配慮と思いやりのある社会のよさ、人のよさを、しみじみと感じとることのできる資料である。

### (2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

#### ①資料との対話をさせるための手だて

導入で「町で見かけた恥ずかしい光景や情けない姿」のアンケート結果を発表させる。本資料は爽やかさを感じられる資料であるため、最後まで一気に読み進める。資料を範読後、アンケートの結果と本資料で際立つ少女たちの中にある美しさを対比させる。中心発問で、「お年寄りを押しのけるようにして～お年寄りの女性を座らせた」、という中学生たちの一連の動きを取り上げ、様々な切り口からの意見を出させ、積極的な議論を導きたい。

#### ②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

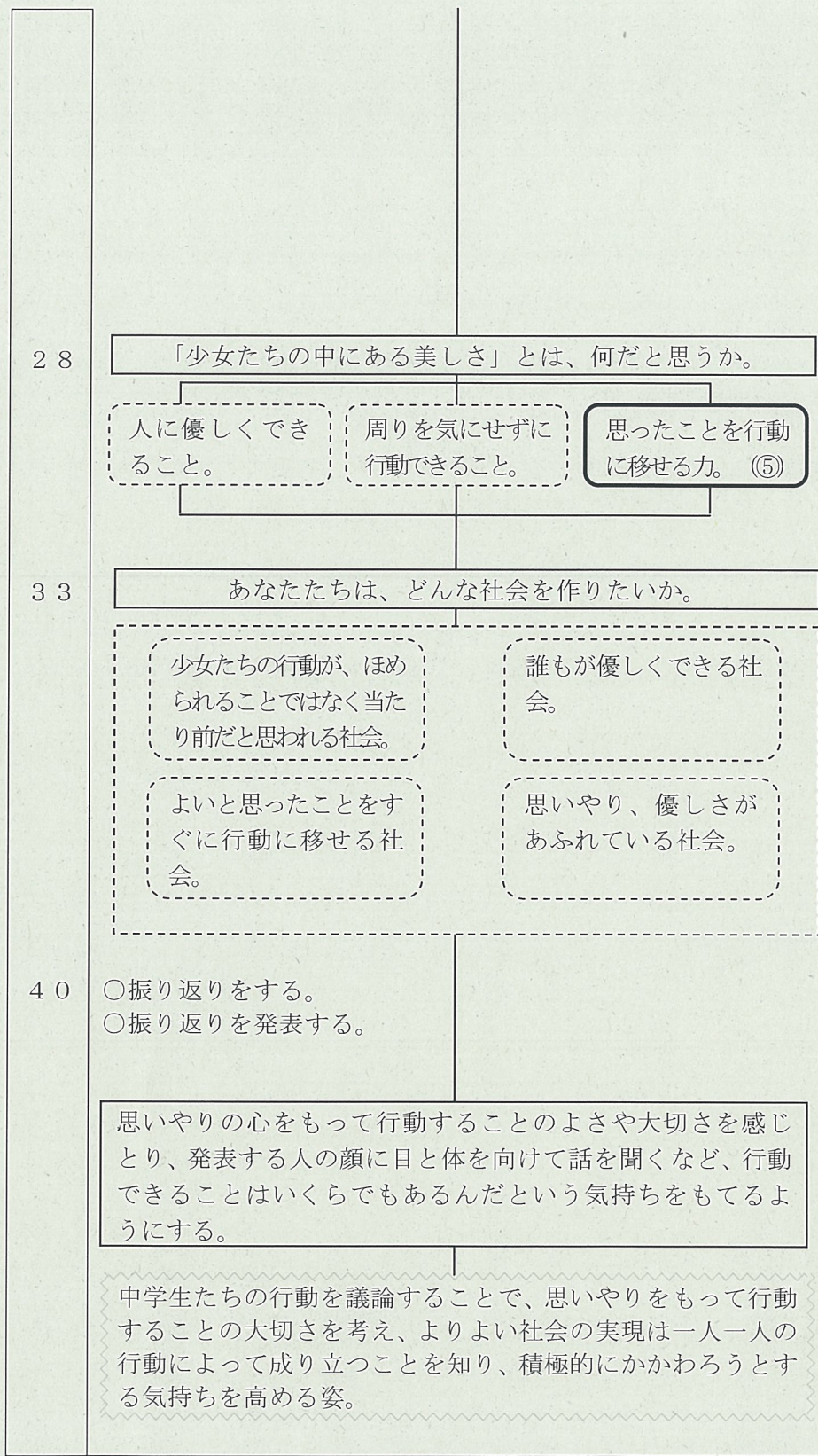
中心発問に対する意見を画用紙に書き、手に持つことで自分の意見を友達に見えるようにする。また、その中で核となる考えをもつ生徒を意図的に指名していくことで、議論を深めさせる。初めは、「とても心の優しい行動だと思う」などの少女たちの思いやりに対する評価の意見を取り上げ、徐々に中学生たちが行動したからこそお年寄りは座れたという意見に目を向けさせていく。その後、「少女たちの中にある美しさ」を考えさせることで、人を思いやって行動することの大切さについて改めて考えを深めさせる。

## 6 板書計画

「地下鉄で」
町で見かけた情けない姿
・ 信号無視 ・ 自転車の二人乗り ・ ゴミのポイ捨て
女の子たちの一連の動き
・ とても心の優しい行動だと思う。 ・ なんでそこまでするんだろう。 ・ 誤解されるかもしれないから、 違う方法の方がよかったかもしれない。
← この女の子たちが行動したからあのお年寄りは座れたんだよ。
少女たちの中にある美しさとは
・ 他人に優しくできること ・ 思ったことを行動できる力 ・ 周りの目を気にせずに行動できること
どんな社会を作りたいか
・ 誰もが優しくできる社会 ・ よいとおもったことをすぐに行動に移せる社会 ・ 少女たちの行動が、褒められることではなく当たり前だと思われる社会

7 本時の展開

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
0	<p>○事前アンケートの結果を聞く。</p> <p>あなたは、町で恥ずかしい光景や情けない姿を見かけたことはあるか。</p> <p>信号無視を見たことがある。</p> <p>ゴミのポイ捨てをしている人を見た。</p> <p>歩きながら携帯を操作していた。</p>	<p>※アンケート内容を数人に体験談として発表させ、「それを見たときどう思った？」と補助発問し、ルールやマナー、よい社会の在り方を確認する。</p>
5 10	<p>○資料の範読を聞く。</p> <p>感想を発表しよう。</p> <p>○指名により発表する。</p> <p>最初は嫌な中学生だと思ったけど、いい中学生だった。(①)</p> <p>お年寄りに優しくできていい。</p> <p>自分だったらそこまでできないなあ。</p> <p>ハンドバッグを投げ捨てる恥ずかしい人もいるんだな。</p> <p>他にも困っていた人はいなかったのかな。</p> <p>30年間座らなかったのはすごい。</p>	<p>※資料にある「少女たちの中にある美しさ」を際立たせるために、恥ずかしい光景や情けない姿と対比させる。</p> <p>※生徒から①の考えが出たら、「どうしてそう思った」と問いかけその答えに、「なるほど」とうなずき認める。(①B：評価する)</p> <p>※抽出生徒Aを意図的に指名し、感想を発表させることで授業に参加する意欲づけを図る。</p>
14	<p>「お年寄りを押しよけるようにして～お年寄りの女性を座らせた」という女の子たちの一連の行動をあなたはどう思うか。</p> <p>○話し合う。</p> <p>とても心の優しい行動だと思う。</p> <p>なんでそこまでするんだろう。</p> <p>わざといいことをすれば周りから偉い子だと思われたり、お礼がもらえたりすると思ったんじゃないか。(②)</p> <p>他の人に誤解されるかもしれないから、違う方法の方がよかったんじゃないかと思う。(③)</p> <p>この女の子たち以外は、誰もお年寄りのために行動しなかったのかなあ。(④)</p> <p>いい行いだとは思いますが、行儀の悪い部分もある。(④)</p>	<p>※画用紙に自分の考えを書き、周りに見えるように手に持つことで、全員が対話に参加できるようにする。</p> <p>※②のような意見が出たときは、この意見をどう思うか全体に返したり、本人に「本当にそう思うか」と問い返すことで、考えの誤りに気づけるようにする。</p> <p>(②D：断ち切る)</p> <p>※視点が方法論に移りそうであれば、「どのような方法がよかったかは、また考えよう。この中学生たちのお話で大切なことは何だと思う。」と投げかけ、軌道修正する。</p> <p>(③D：軌道修正する)</p> <p>※話し合いがいき詰まるようであれば、④の意見を教師が提案し、「どうだろうか」と投げかけたり、「行儀の悪い部分もあるんじゃないのかな」と補助発問したりし、この中学生たちが、気づくだけではなく行</p>



動に移したことへ着目させることで、行動することの大切さに気づくようにする。(4:C気づかせる)

☆話し合いに意欲的に参加することができたか。また、耳をすまして友達の意見を聞くことができたか。(発言、目線、うなずき)

※⑤のような意見が出たら、抽出生徒Bの最近のよかった行動を取り上げてほめ、学級全体へ行動することの良さを広めていく。(5B:生かす)

※意見を書かせる前に、テレビやインターネットで知ったり触れられたりすることだけが社会ではなく、学級や部活動などの身近な場であっても一つの社会であることを確認する。

※「あなた」ではなく「あなたたち」という言葉を使うことで、よりよい社会の実現は、全員で成し遂げていくものだという意識づけをする。

※どの意見に対しても肯定的にうなずきながら「あなたならすぐに始められそうだね」という温かい声かけをすることで、よりよい社会の実現に向けて実践していこうとする気持ちを高められるようにする。

☆中学生たちの行動を考えるを通して、積極的に社会にかかわっていこうとする気持ちが高まったか。(発言、ワークシート)

授業の視点

- ① 基本発問や中心発問の内容や流れは、ねらいに迫るうえで有効であったか。
- ② ③Dで軌道修正をしたり、④Cで補助発問をしたりしたことは、議論を深めるうえで有効であったか。